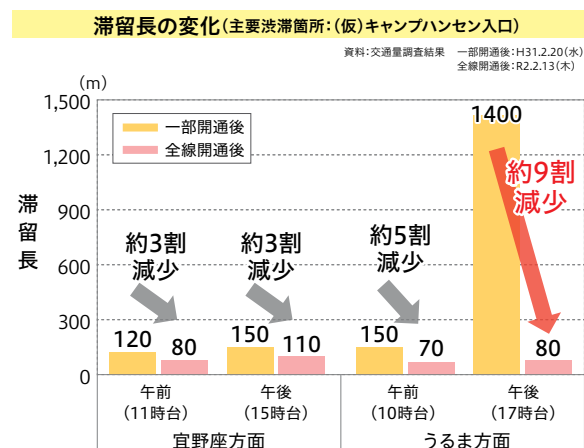


一般国道329号 金武バイパスの整備効果 全線開通1年後の交通状況



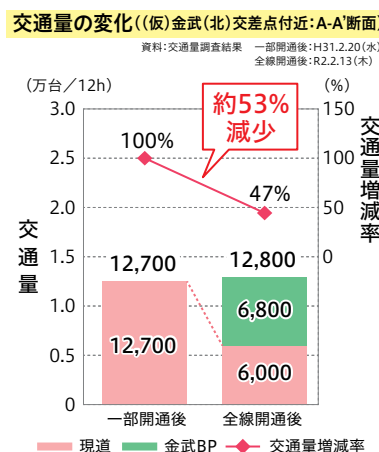
至宜野座村付近から
金武バイパスを望む

平成31年3月30日に全線開通した一般国道329号金武バイパス(5.6km 2車線道路)について、今回、全線開通1年後の交通状況と整備効果をとりとめましたので、ご紹介します。



国道329号現道の主要渋滞箇所である(仮)キャンプハンセン入口の渋滞が最大1400mから80mと約9割減少し、走行性が向上しました。

効果② 混雑の緩和



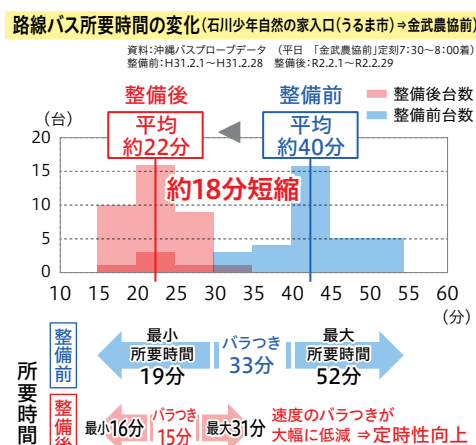
効果① バイパスへ交通量が転換
国道329号現道の交通が金武バイパスへ転換し、(仮)金武(北)交差点付近で交通量が約53%減少しました。

このように金武バイパスの整備は、地域の交通渋滞の緩和をはじめ、地域交流の活性化に寄与しています。
今後、金武バイパスが地域のさらなる発展に大きく貢献することを期待しています。

効果④ 地域交流の活性化
バイパスに近接するギンバル訓練場跡地では、スポーツコンベンション拠点(野球場、サッカー場など)が整備され、プロスポーツキャンプ地として地域が活性化しています。



プロサッカーチームの春キャンプの様子
資料: 金武町役場提供資料



効果③ バスの定時性が向上
路線バスの平均所要時間が40分から22分となり、大幅に定時性が向上しました。